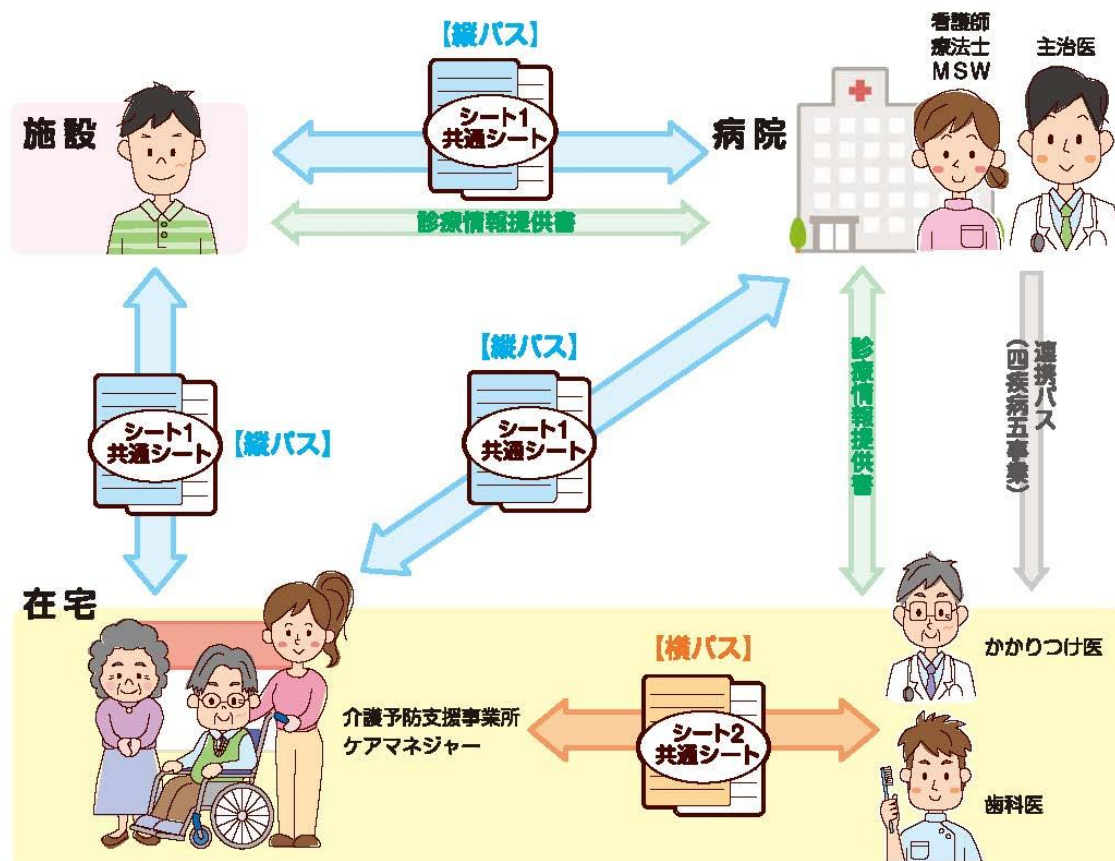


医療連携の現状

平成11年度より、吉備医師会とケアマネジャーの合同で研修会や多職種情報交換会を実施し、医療と介護の顔の見える関係づくりをしてきた。

一方、倉敷・総社・早島をエリアとした、リハビリテーション広域支援センターの活動として、入退院（所）時の連絡調整や、在宅での医療・介護間の連携促進に役立つツール「医療・介護連携シート」を作成し、各市町で活用のための研修会を開催した。総社市では、医療介護関係者を対象に3回の研修会を実施した。

① 医療介護連携シート （別添：共通シート・縦パス・横パス）



② 総社市医療連携窓口一覧（別添）

連携窓口や、都合の良い時間帯等の情報を共有することにより、効率的な医療との連携を図るために、地域包括支援センターの職員を中心に作成した。